

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	○日常的な外出支援 外出に特に力を入れており利用者や家族からも評価されているが、更に質の高い支援ができるよう取り組みたい。3年前も外出支援の取り組みを行ったが、次第にドライブが主になることが多くなっている。利用者の声を大事にし外へ・地域へ・社会へを念頭に置き新しいことへのチャレンジをしたい。	○日常生活の普段の関わりの中から、何気ない仕草や会話の中で、本人の思いを探り実現できるよう導く。喜びや笑顔を引き出し、本人・家族・職員が幸せを感じることができる。 ○活き活きとした生活が送れる。	①個別外出(自宅、温泉、思い出の場所、他、目的のない外出(地面に足をつく)) ②集団外出(外食会、ピクニックなど) ③行事計画の設定(マンネリ化にならない工夫)	12ヶ月
2	13	○職員を育てる取り組み 今年度は施設内での研修には積極的に参加ができたが、外部研修の機会を持つことが少なかった。外部との交流の中で、刺激を受け自己研鑽と意識拡大が持てるようになればよいと思う。	○職員研修を通してスキルアップを図る。目的を持ち意欲的な考えのもと働くことができる。	①個人のレベルに合わせた研修 ・初任者研修・中級者研修(外部施設研修・講習会) ②施設内研修の参加率を上げる。(声掛け、ポスター掲示、など) ③外部施設見学(研修)	12ヶ月
3	32	○看取りケアの充実 グループホームにて看取りケアについて職員間での意識統一を図り、多職種との連携がスムーズに行えるようにしたい。職員の不安材料を把握しそれぞれが目的に沿った一連の流れが認識できるようにしたい。	○看取りケアについて、職員の不安軽減と知識を高めるための気づきや医療との連携がスムーズに行える。	①研修への参加 ②GH内での流れの確認(資料作成) ③会議や個別での話し合い(意識確認)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。